

## 故野々村瑞穂名誉会員のご逝去を悼んで



野々村瑞穂名誉会員（仕事上、野々村先生と呼んでいましたので以降、野々村先生とさせていただきます）は新型コロナウイルス感染がまん延する少し前に肺がんが発見され、2年間病気療養をされていましたが、薬石効なく去る令和4年9月10日にご逝去されました。ここに謹んでお悔み申し上げ、会員の皆様にお知らせいたします。享年89歳（昭和8年11月25日生）

野々村先生は栄養士養成校卒業後、学校と病院で給食管理業務に従事され、昭和60年に（株）日本食生活指導センターを設立されました。管理栄養士が仕事をしていくためには、会社組織を作り社会的信用を得ないといけないという思いから、日本で初めて管理栄養士の会社を設立され、亡くなる直前まで後輩達の育成にもご尽力されました。

（公社）大阪府栄養士会の活動としては、昭和51年度より62年度まで本会の理事と監事をされ、昭和55年度より平成12年度まで（公社）日本栄養士会の地域活動事業部の理事として、地域活動事業部の組織作りにも力を注がれました。平成13年度からは大阪府栄養士会連盟監事を令和3年度まで務められ、顧問としても本会の運営を支えられました。

以上のような業績に対し、大阪府知事表彰、厚生労働大臣表彰、国際栄誉賞「コマンドール・クロス勲章」など数々の輝かしい表彰を受賞されました。

また、野々村先生は、短期大学や専修学校の非常勤講師をされながら、（株）日本食生活指導センターのメンバーには、経歴が大切と言って学会に発表することを勧めてくださり、日本栄養改善学会や日本未病学会等の発表で、日本全国を野々村先生と回ったことは懐かしい思い出です。さらに、執筆された17冊の書籍の中で、「シングルライフの料理入門」は全国図書の推薦図書に選定されました。

80歳を超えた平成26年には、認知症やフレイルの予防を目的に「百寿未病の会」を主宰し地域の高齢者を対象に精力的に取り組まれ、私たちセンターメンバーは野々村先生のパワーに圧倒されました。当時「100歳まで現役」とおっしゃっていた野々村先生の言葉が耳から離れません。88歳の時の取材では「好奇心を忘れない」と、何事にもいつも前向きで取り組み、私たちに叱咤激励してくれた野々村先生の姿はいつまでも忘れることはできません。野々村先生は私達管理栄養士・栄養士の鏡であり、これからの私たちの道しるべとして栄養士業務に励んでいきたいと思えます。

野々村先生のありし日を皆様と共に偲び感謝し、多大なご功績をたたえとともにご冥福をお祈り申し上げます。

公益社団法人 大阪府栄養士会 参与  
地域活動部会 橋本 通子